

科目ナンバー： MmC3101

授業コード： 6630301200

講義科目名称： 地域母子保健特論

英文科目名称： Advanced Maternal and Child Health in Community

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1 学年	2 単位	助産師必修
担当教員			
◎増澤祐子、常盤洋子、高林知佳子、野口裕子、高館陽子			
添付ファイル			

授業種類	【開講】 後期	【授業時間】 30時間		
	【担当教員】			
	【氏名】	【所属】	【研究室】	【メールアドレス】
	◎増澤 祐子	新潟県立看護大学	311	masuzawa@niigata-cn.ac.jp
	常盤 洋子	同上	320	yotokiwa@niigata-cn.ac.jp
	高林 知佳子	同上	304	takabaya@niigata-cn.ac.jp
	野口 裕子	同上	209	yuko@niigata-cn.ac.jp
	高館 陽子	新潟県助産師会		
	【本学の科目区分】 専門科目			
	【DP 1】 【DP 2】 【DP 3】 【DP 4】 【DP 5】			
	研究			
	CNS			
	助産	◎	○	○

到達目標	<p>1. 地域母子保健の概念と意義を述べることができる。</p> <p>2. 地域母子保健の現状と動向の理解し、地域における母子支援・政策的課題について考えを述べるができる。</p> <p>3. 地域母子支援を展開していくためのヘルスプロモーション理論について述べるができる。</p> <p>4. 地域における母子支援を展開するための地域診断の必要性と過程を述べるができる。</p> <p>5. 子育て世代包括支援における助産師の役割を述べるができる。</p>
------	---

授業概要	<p>地域母子保健の概念と意義、地域母子保健の現状と動向の理解を基盤とし、地域における母子への支援や政策的課題を研究的視点から考察する。また、周産期におけるメンタルヘルス等、地域における母子支援を展開していくための理論、地域診断に必要な知識・技術を学修し、ヘルスプロモーションに基づく効果的な母子保健事業の計画・実施・評価について理解する。多職種と連携・協働しながら母子の暮らしを見据えて子育て世代を包括的に支援するために必要な理論や方法を理解し、助産師のリーダーシップ発揮について探求する。</p>
------	--

授業計画	<p>1 授業内容          授業形態：講義          学修課題：地域母子保健の概念          学修内容：地域母子保健の概念と意義          事前学修：テキストなどを用いて地域母子保健について読み、授業に臨むこと（20分）          事後学修：地域母子保健の意義についての知見の整理すること（30分）          備考：常盤・増澤</p> <p>2 授業内容          授業形態：講義          学修課題：母子保健の現状と動向          学修内容：母子保健の現状と動向からみる母子保健の課題          事前学修：テキストなどを用いて母子保健の現状と動向について調べ、授業に臨むこと（20分）          事後学修：母子保健の課題についての知見の整理すること（30分）          備考：常盤・増澤</p> <p>3 授業内容          授業形態：演習          学修課題：母子保健の現状と課題（1）          学修内容：地域母子保健政策の現状と母子支援の課題についてのグループワーク          事前学修：テキストなどを用いて地域母子保健政策の現状と母子支援の課題を調べ、授業に臨むこと（20分）          事後学修：地域母子保健政策の現状と母子支援の課題についての知見の整理すること（30分）          備考：常盤・増澤</p> <p>4 授業内容          授業形態：発表・討議          学修課題：母子保健の現状と課題（2）          学修内容：母子保健の現状と動向からとらえる地域における母子支援・政策的課題について発表する          事前学修：地域母子保健政策の現状と母子支援の課題と対策についての発表資料の作成すること</p>
------	---

5	<p>(60分)        事後学修：討議を通して、母子支援の課題についての知見の整理すること (30分)        備考：常盤・増澤        授業内容        授業形態：演習        学修課題：主な母子保健制度と関連法規/母子保健施策と助産師の役割 (1)        学修内容：主な母子保健制度と関連法規と助産師の役割についての検討        事前学修：母子保健施策の根拠となる制度や法規についての知見の整理すること (20分)        事後学修：制度や法規に基づき、母子支援を行う助産師の役割を考察すること (30分)        備考：常盤・増澤</p>
6	<p>授業内容        授業形態：発表・討議        学修課題：母子保健制度と関連法規/母子保健施策と助産師の役割 (2)        学修内容：主な母子保健制度と関連法規と母子保健施策における助産師の役割        事前学修：制度や法規に基づき、母子支援を行う助産師の役割についての発表資料の作成すること (60分)        事後学修：討議を通して、母子支援を行う助産師の役割についての知見の整理すること (30分)        備考：常盤・増澤</p>
7	<p>授業内容        授業形態：演習        学修課題：母子保健計画・事業への参画        学修内容：母子保健計画・事業への参画 (関係機関・関係職種との連携) についての検討        事前学修：母子保健を行うステークホルダーとその役割についての検討すること (20分)        事後学修：ステークホルダーとの連携についての知見の整理すること (30分)        備考：常盤・増澤</p>
8	<p>授業内容        授業形態：発表・討議        学修課題：母子保健計画・事業への参画        学修内容：母子保健計画・事業への参画 (関係機関・関係職種との連携における助産師の役割)        事前学修：母子保健を行うステークホルダーとの連携についての発表資料の作成すること (60分)        事後学修：母子保健計画の課題について連携の視点からの知見の整理すること (30分)        備考：常盤・増澤</p>
9	<p>授業内容        授業形態：講義        学修課題：地域母子支援の展開        学修内容：地域母子支援の展開とヘルスプロモーション理論        事前学修：ヘルスプロモーション、PRECEDE-PROCEEDモデルについて調べ、授業に臨むこと (20分)        事後学修：ヘルスプロモーションを活用した母子保健計画の評価についてを文献検索すること (30分)        備考：常盤・増澤</p>
10	<p>授業内容        授業形態：発表・討議        学修課題：ヘルスプロモーション理論        学修内容：ヘルスプロモーション理論を活用した地域母子支援の展開        事前学修：PRECEDE-PROCEEDモデルを活用した母子保健計画の評価について発表資料の作成すること (60分)        事後学修：ヘルスプロモーションを活用した母子保健計画についての知見の整理すること (30分)        備考：常盤・増澤</p>
11	<p>授業内容        授業形態：講義        学修課題：地域母子保健の概要と地域診断        学修内容：地域母子保健に関わる地域診断の概要        事前学修：母子保健と地域診断の基本的な考え方について確認すること (20分)        事後学修：地域母子保健において地域診断が果たす役割を整理すること (30分)        備考：高林</p>
12	<p>授業内容        授業形態：講義        学修課題：地域母子保健の概要と地域診断        学修内容：地域母子保健に関わる地域診断の実際        事前学修：前回の講義内容を復習し、地域母子保健に関わる地域診断の視点を確認すること (20分)        事後学修：地域診断の具体例を通して、母子保健活動へのつながりを整理すること (30分)        備考：野口</p>
13	<p>授業内容        授業形態：講義        学修課題：地域母子保健の実践        学修内容：新潟県の地域母子保健活動における助産師の実践 (産後)        事前学修：上越市で実施されている母子保健事業について調べ、授業に臨むこと (30分)        事後学修：上越市における母子保健事業の課題について知見の整理すること (30分)        備考：高館</p>
14	<p>授業内容        授業形態：講義        学修課題：地域母子保健の実践        学修内容：新潟県の地域母子保健活動における助産師の実践 (プレコンセプションケア)        事前学修：上越市で実施されている思春期の保健事業調べ、授業に臨むこと (30分)        事後学修：上越市における助産師の母子保健活動についての知見の整理すること (30分)        備考：高館</p>

	15	<p>授業内容</p> <p>授業形態：発表・討論</p> <p>学修課題：子育て世代包括支援の概要と助産師の役割</p> <p>学修内容：こども家庭センターの概要と助産師の役割</p> <p>事前学修：子育て世代包括支援の実施内容と助産師の役割について発表資料の作成すること（60分）</p> <p>事後学修：討論を通しての知見の整理すること（30分）</p> <p>備考：常盤・増澤</p>
事前・事後学習		
評価方法、評価基準		到達目標1～5に対してプレゼンテーションとディスカッションへの参加度20%、レポート課題80%により評価する。 レポート課題：子育て世代包括支援における助産師の役割
テキスト		我部山キヨ子（編）（2023）：地域母子保健・国際母子保健，医学書院。
参考図書・資料等		厚生労働統計協会（2025）国民衛生の動向 2025/2026（第72巻第9号），一般社団法人厚生労働統計協会。 母子衛生研究会（2025）：母子保健の主なる統計（令和7年刊行），母子衛生研究会。 宮崎美砂子・他（編）（2025）：最新公衆衛生看護学2025年度版 各論1・2，日本看護協会出版会。 標美奈子・他（2022）：標準保健師講座 公衆衛生看護学概論第6版，医学書院。
受講、課題、資料配布等のルール		欠席の場合は必ず担当教員に事前に連絡する。 発表資料は人数分コピーし、授業前に配布する。 発表、討議は学生が進行する。
教員からのメッセージ		暮らしの中にある母子の健康課題や母子支援について関心をもって観察したり情報を積極的に収集し地域母子保健活動の必要性につなげることを期待する。
オフィスアワー		随時対応（メール調整）。